JI3ZAG Newsletter
Osaka I-House Radio Club
May 1, 2004

徒然なるままに

JA3AA　島 伊三治

A22AA, AA6AA, AH3AA, BU2AA, BY4AA, BY9AA, C21AA, CE2AA, CE8AA, CP5AA, CP6AA, CU3AA, CX1AA, DA1AA, DJ2AA, .DL3AA, DL7AA, DL0AA, DM3AA, DM5AA, EU1AA, EW1AA, EW2AA, FO8AA, FU8AA, FW0AA, H40AA, HL1AA, HP3AA, JA1AA, JA2AA, JA4AA, JA5AA, JA6AA, JA7AA, JA8AA, JA9AA, JA0AA, JT1AA, K6AA, K7AA, KA9AA, KC6AA, KH6AA, KH7AA, KR6AA, KV4AA, N4AA, N6AA, N8AA, OF1AA, OG2AA, OG3AA, OH1AA, OH2AA, OH3AA, OH4AA, OH6AA, OH7AA, OK7AA, OM1AA, OM3AA, OM0AA, OR6AA, OZ1AA, R3AA, RA0AA, RA3AA, RA4AA, RB5AA, RH8AA, RN9AA, RW3AA, RW4AA, S59AA, SK5AA, SP5AA, TG0AA, UA3AA, UA9AA, UC2AA, UC3AA, UF6AA, UH8AA, UI8AA, UK8AA, UK9AA, UL7AA, UO5AA, UT5AA, UV1AA, UW0AA, UW3AA, UZ0AA, VE8AA, VQ9AA/D, VQ9AA/F, VR1AA, W1AA, XQ3AA, XU1AA, YU30AA, XV3AA, YK1AA, YO3AA, YT3AA, YT7AA, YU1AA, YZ1AA, 7P8AA, 7Q7AA, 9A1AA, 9A9AA, 9G1AA, 9G5AA, 9M2AA, 9X5AA.

細かい活字でコールサインを並べてどうしたのと、お思いになることでしょう。実はこれは私がコンファームしたサフィツクスが AA の局名です。なかなか 100 まで達しませんでしたが、久しぶりに数えてみたら 116 局ありました。これ以外に未コンファームが 40 局程あります。次は 150 局を目指します。

ところで、皆様方が交信された局のコールサインのサフィツクスで一番多いのはどの文字かご存知ですか ?。それは圧倒的に多いのが AA なのです。私の LOG から調べますと、AB が 30 局 ,BB が 17 局でした。

クラブメンバーと同じサフィックスの交信局数は、UB-7,AER-6,USA ー 4,CZY,GAH がともに 2、AOP,BOA、PYC 各 1,BEQ-3,AZA は何故か多くて 9 局でした。

JP3AZA ベトナムを行く

JP3AZA/XV3AZA　河田至弘

出発まで

昨年に引き続き今年もベトナム中部の古都ホイアンから XV3BV 及び XV3AZA の運用を行いました。当初、昨年運用したメンバー 5 人全員の参加をと言うことで話を進めてきましたが、1 名は仕事の都合で参加出来ず、2 名は体調が悪くドクターストップと相成り、結果として JA9BV 亀山さんと私 JP3AZA の二人だけのやじきた道中となりました。

サイゴン空港前広場

飛行機を降りると真夏だった

ベトナムは今年からビザが不要になり最大限度の 2 週間をフルに使おうと 3 月 3 日まだ寒い関西空港からホーチミン直行のベトナム航空の飛行機に乗ってベトナム・ホーチミンへと向かいました。到着時の空港周辺の気温は 34 度で、ホーチミン市内は 36 度もあり、いきなり汗の噴出す真夏の世界に来てしまいました。昨年も経験しているはずなのにやはり初日は厳しかった。この日から 17 日に帰国するまで 2 週間の真夏を満喫しました。

XV2A Nguyen Bac Ai さん宅を訪問して免許状を受け取り翌日の国内線でホーチミンからダナン経由目的地のホイアンへと向かいます。

国営のホイアンホテル

アンテナの建設と運用

ホイアンはベトナムでも有数の古都でいろいろ風光明媚なところが数多くあり、1600 年代の日本の幕府役人谷弥次郎兵衛とホイアンの女性との恋愛物語が語り継がれ墳墓も残っていて対日感情の良いところです。

アンテナ建設は投宿した Thuy Duong3 ホテルの全面協力もあって屋上にバンザイアンテナと 3.5/7MHz 用のダイポールアンテナを張ることが出来、少なくとも地上高 20m を確保できましたが、ベトナムではこの時期には珍しい雨に見舞われ、それも 3 日間降り続きで調整完了までに相当な時間を必要としました。調整の結果これらのアンテナは全バンドにおいて VSWR を 1.5 以下にすることが出来、本格的な運用が始まりました。

ところがハプニングが起こり、私のエレキーが故障で、1 年間ベトナムで休んでいる間に動かなくなっていました。そんな訳で CW の運用はもっぱら XV3BV 亀山さんにお任せしましたがひとりぼっちでの運用時にも CW の要望があり、結果として使い慣れないストレートキーでの運用となりました。スピードは出ないし、たたきにくいし肩はこりこりになるはでさんざんでした。根気良くお相手いただきました各局 有難うございました。

XV3AZA 運用中

CW は XV3BV 亀山さんにお任せ

今回の運用では JA4DW 小野さんのご協力により FL2100Z の終段の真空管 572B を日本から持参しましたので安心して運用出来るようになり、各バンドとも出力 500W を確保出来ましたが、やはり 3.5MHz の運用は厳しかったと思います。現地の 3.5MHz の状況は物凄いトロピカルノイズがあり、S メーターは常時 S9+10dB 位のレベルを振っています。QSO するにはこのノイズに打ち勝ってくる信号のみが受信できると言う状況で、日本時間の午前 2 時ころから夜明けまでの一時がこのノイズレベルが低下しますので (それでもノイズレベルは S8 くらい)3.5MHz

5 ページに続く

関西空港見学記

JA3AER　荒川泰蔵

大阪国際交流センターラジオクラブの皆さんは、いつも関西空港を利用するお得意さまで、関西空港なんて何度も見学しているよ、とおっしゃられるかもしれませんが、今回は普段見られないところも含めて見学してきましたので、NL の誌面を借りて少々報告させて頂きます。

見学者ホール

実はこの見学会は「日本品質管理学会・関西支部」が主催したもので、第 2 期工事の技術的な見学が目的でした。「関西国際空港株式会社」の係員の話ではここから 32 ケ国・地域、76 都市を結び、週 692 便が出発しているとのことで、最近中国への便が増え、上海行きが 56 便 / 週、次いで香港行きが 50 便 / 週だそうです。それでももっとこの空港を利用していただくための施策を考えており、親しんでいただくために連休の 5 月 3 日と 4 日には連絡橋を無料開放すると説明されましたので、JA3USA 島本さんが以前話しておられたことを思いだし､「友人が連絡橋の混雑と、駐車場探しに時間をとられ、飛行機に乗り遅れた。飛行場の本来の目的・機能を忘れてお祭り行事の客集めはいかがなものでしょうか。」とコメントしておきました。

皆さんおなじみの国際便出発ロビーの天井の白い帯状のカーテンは、空調の風をここに当ててロビーにまんべんなく行き渡らせるとともに、電灯の光をここに当てて間接照明をしていて、単なるインテリアデザインではないとの説明に、普段はなにげなく見過ごしていることに気づきました。その近くにある黄色のムービングアートはその風の流れを確認するためのものだそうです。

ジャッキアップされる空港柱 (地下)

ジャッキアップ用のジャッキ、意外と小さい

また、空港ビルのジャッキアップの現場も見せてくれましたが、10cm 程度しか持ち上げていないのであれっと思いましたが、地盤沈下分をそのまま持ち上げるのではなく、バランスをとるためのもので、上げる場合も下げる場合もあるとの説明でした。地盤の沈下は計算済みで、年々沈下の量が下がっていていずれ落ち着くだろうとのこと､ただ､場所によって沈下のバラツキがあるので、ビルの場合その高さをジャッキアップで調整しているとのことでした。

他にも貨物の集積場を見学し、日本から空輸で輸出される貨物の 25% は関西空港からであるが、鈴鹿で F1 が開催される時の貨物は非常に多くて騒然となるなど、バスで巡った空港島では、郵便局にさしかかると、大阪からの外国宛郵便物は全てここの郵便局を経由するとか、警察署にさしかかるとこの島の住民 (戸籍登録) はこの警察署長 1 人だけだとか、自家用機用の駐機場では有名人や富豪の自家用機はこの辺りに駐機していたなどの話を伺いました。

第 2 期工事は「関西国際空港用地造成株式会社」の技術者が、現場を遠望しながら説明してくれましたが、地盤改良工事から始まって、護岸工事、埋立工事と 2 億 5000 万立方メートルの土砂の調達など、これは非常に大きな工事であることが再確認できました。第 1 期工事と違うところは GPS を利用した正確な位置調整など IT など最新のテクノロジーを駆使し、また海域環境調査などを繰り返し、海藻のための藻場造成にも工夫するなど、土木技術のみにとどまらぬ一大プロジェクトの大工事で、米国の土木学会から「世紀の偉業」賞を受賞したそうです。

この第 2 期工事の概要を知るには、「ホテル日航関西空港」の北側 2 階に「2 期工事見学ホール」が設けられていますので、空港で待ち時間のある方は一度覗かれると良いでしょう。また予約申込みをすれば、60 分程度のツアーもあるそうです。

我々の地元の国際空港が拡大発展し、ここを窓口に海外との往来が益々盛んになって、更なる国際親善を果たせれば素晴らしいのではないかと思いました。

文は 1 頁と 5 頁

河内長野市民まつりのご案内

5 月 9 日 (日) 午前 10 時 ~ 午後 4 時、河内長野市寺ケ池公園一帯と市立小山田小学校を会場に第 13 回河内長野市民まつりが開催されます。今年は河内長野市の市制 50 周年記念の行事としても関係者は大いに熱を上げて準備中です。大阪府電波適正利用推進員協議会もブースを設け、啓蒙活動を行うと共に、地元の無線クラブ河内長野市アマチュア無線連絡協議会の協力を得て､特別局｢8N3DNP｣を公開運用の予定です。南海高野線河内長野駅または千代田駅から会場までシャトルバスが運行されます (会場に駐車場はありません) ので、皆さん是非お誘いの上お出かけください。また「8N3DNP」との QSO もよろしくお願い致します。(de JA3AER)

参照 : http://www.shiminmatsuri.com/

JAIG 大阪ミーティング特集 (2)

JAIG Treffen に参加して

JA4HCK　馬場 秀雄

このたびの JAIG 大阪ミーティングに参加することを決め JA3AER 荒川さんに電話しました。夜の総会は出席者が多いが、日中はみな忙しく観光の参加者が少ないと心配されていたので、前日の夜に大阪に入り朝からのプログラムに同行する事にしました。ドイツには 1979 年に一度だけ行ったことがあります。ボーイスカウトでキャンプ場を訪問しアップルワインをいただき美味しかったのが印象に残っています。さっそく日本に帰ってアップルワインを購入して飲んでみたのですが味がまったく別物でした。夜遅く大阪に着くと寿司を食べたいというドイツの人達と JA3UB 三好さんが待っていて一緒に寿司を食べに行きました。

26 日朝、地元の参加者 JA3AER 荒川さんと JR3MVF 三好夫人と私の 3 名にドイツから来た人達合計 29 名が観光に出かけました。一方 JA3AA、JA3UB、JE3BEQ それに DK9QZ はアイハウスで茶道お手前の準備等をしておられました。

バスで配布された JA3QUU 手作りの観光資料は 16 ページにおよび、日本語版、ドイツ語版とあり内容が詳しく解りやすく出来ていて感心しました。

まず四天王寺拝観。偶然にも和尚さんがドイツで修行した事があると言って皆の道中の安全を祈念してお経をあげて下さいました。仏像の前で隣の女性がドイツ語で話しかけてきました。「?」アァ -! ドイツ語勉強しておけばよかった。英語と身振りで会話。仏像の手の型の意味は ?。薄識で答えましたが、親指と人差指で作った輪の意味を聞かれて困りました。こんな時 、JH3GAH 後藤さんが居たらなぁと思いましたが、彼もあれこれ忙しくしてて知らないかも ?。阿弥陀如来だったので、死んだらウエルカムといってくれると言っておきました。横の十一面観音もそれなりに説明しておきましたが 、それを又隣の人にドイツ語で説明していました。(大丈夫かナー)。

続いて大阪城。バスに積み込んでおいたお弁当を持って大阪城見学。中で三好という名字みつけた DJ9WH ブッツさん 流暢な日本語で「ミヨシサンノシンセキデスカ」…。そういえば BA4AA 周さんが来られた時も同じ事を言っておられました。見学後、前の広場で昼食。桜が開花寸前で少し残念。

陶磁美術館見学。予約してあったボランティアのガイドが 2 人来て下さいました。ドイツ語出来ないので日本語で説明。DF2CW 壱岐さんたちが通訳しました。よほど関心があるのか一品ずつ丁寧に写真を撮ってました。そして質問「これは価値がなさそうに見えるがどうして良いのか ?」我々日本人は良いと言われれば「ホー」と感心して見ますが。ガイドの人は苦笑しながら答えていました。マイセンで育ったという人が特によく質問していました。

お茶会 (国際交流センター) ではドイツの方は交代でお手前を体験されました。実際体験されて足がしびれた事と思います。その他 JI3ZAG 無線室を訪問したり、記念写真を撮ったり。アイボール QSO を楽しんでいました。この後ホテルに戻り夜 6 時よりの JAIG ミーティングまで休憩。

JAIG2004 総会。沢山の人が集まり盛会のもと開催されました。ドイツ語と日本語で司会進行され、観光された皆さんも少しおしゃれして会に臨まれました。私は鳥取へ帰るバスの時間がきてしまい。近くの人に挨拶をして、名残惜しくも会場を後にしました。

KANHAM 2004　5 月 21(金)・22(土)・23(日)

池田市民文化会館にて　JARL 通常総会も同時開催

当ラジオクラブの出展ブースは二階のコーナー。アイハウス、クリーンデンパ、電波適正利用推進員協議会合同で、机三つを確保しました。背面はガラスで後向けにポスターをテープで貼れば一階入り口やフロアからよく見える位置です。当クラブからはパネル出展のほか、特別局 8N3DNP の運用も行ないます。ブースの担当はメンバーで時間割を決めますが、希望時間があれば JA3UB 三好さんに事前に申し出て下さい。

私が使った アマチュア無線機器

JA3UB 三好二郎

ＩＣ -710 を前に

ドレークがメインの頃

IC-780 発売開始の頃

ヒースキットとシグナルワン

真面目 (?) に DX

比較的シンプルな頃

TS-480 遠隔操作実験の顛末

JP3AZA 河田至弘

Kenwood の新製品である TS-480 を入手し、インターネットを使用した広域遠隔操作の前段階としてを行いとして家庭内 LAN での制御実験についての顛末をまとめました。

現在の動作状況は家庭内 LAN に 2 台のパソコンを接続し、内 1 台に TS-480 を接続しています。残りの 1 台からは LAN のルーター経由でこの TS-480 を制御します。この状態で上手く動作することが WAN 経由の制御の前提となります。通常の場合、自宅内で確認できる動作としてここまでとなります。

TS-480 の遠隔操作にはいろいろな制約があります。そのひとつは制御用に使用するパソコンの OS が WindowsXp あるいは Windows2000 のどちらかでしか動きません。今回は WindowsXp のみでの動作実験を行いました。

また、ルーターはアクトンテクノロジーの SMC7004BR を使用しました。

1. パソコンから TS-480 を制御する。

遠隔操作ではなく単にパソコンで制御のみを行って見るところから開始します。もちろんパソコン付属のマイクを使用し、受信の音声はパソコンのスピーカーから聞くという状態を確保します。

- 取扱説明書に従い接続ケーブルを作って接続します。
- ARCP-480 を Kenwood のホームページからダウンロードしてインストールします。
- 電源を投入してソフトを起動して "con" をクリックして接続が問題なければ受信は動作します。

接続、ソフトのインストールに関しては ARCP-480 の Help に詳しく述べられていますので、ぜひ熟読してからはじめて下さい。

ここでの問題点はパソコンのマイクからの音声は Line Out から TS-480 の Line　in 端子に入力されますが ARCP-480 の Control → Setup をクリックしたときの画面で TX-control の DTS をセレクトする必要があります。これをしないと入力制御のアナログスイッチが動かず変調がかかりませんので要注意 です。また、これについては取扱説明書にも何も説明がありません。

問題が発生してからホームページにアップされた文書にのみ記載されていますので見逃せば " なんでやねん " の世界になります。

ここまで動けば TS-480 とパソコンの間の動作は OK と判断できますので、これを確認してから家庭内 LAN のルーター経由の制御確認に入ります。

2. ルーターの設定

自宅内で TS-480 の遠隔制御テストをするにはどんな回線が繋がっていようが制御器と被制御器は目の前にないとどのような動作をしているのかは判断出来ません。このことから TS-480 の遠隔制御テストは次ぎ様な状態でテストに入りました。

1. TS-480 にはダミーロードを接続して動作確認をする。
2. いきなり WAN の使用は難しいので LAN のルーター経由の制御実験とします。
3. LAN のルーターの持っているローカル IP アドレスを指定して制御が OK になれば WAN でも殆どの場合問題はないと判断します。
4. 電波を出しての遠隔制御には変更申請が必要なので要注意です。

ルーターの仮想サーバーの設定は、複数の接続を必要としているようなアプリケーションにおいてファイヤーウォール機能が原因での動作不能状態を回避することが出来ます。アマチュア無線のソフトではこのような複数の接続を要求するアプリケーションが数多くあります。

今回の TS-480 遠隔制御ソフトだけではなく良く使われている Echo リンク等もそのひとつです。

以下に私のルーターでの TS-480 遠隔制御に対応した設定を示します。

先ず、ルーターの管理者ポートにログインして仮想サーバーの設定を次のように行います。

	ポート番号	IP アドレス	有効
1	389	192.168.123.110	○
2	522	192.168.123.110	○
3	1503	192.168.123.110	○
4	1720	192.168.123.110	○
5	1731	192.168.123.110	○
6	50000	192.168.123.110	○

このポート番号を有効にするために「有効」のところにチェックを忘れないでください。

この設定は私の使用しているアクトンテクノロジーの SMC7004BR ブロードバンドルーターでの例を示します。他社のものは対応する項目にて設定して下さい。

3. パソコンの設定

設定に入る前に自分のパソコンが持っているルーターから割り振られたローカル IP アドレスを知っておく必要があります。これは次のようにして知ることが出来ます。

1. 画面左下の「スタート」をクリックします。
2. 次にすべてのプログラムをクリックするとプログラム一覧が出てきます。
3. 一覧の中から「アクセサリ」を選択して出てきたメニューの中から「コマンドプロンプト」をクリックします。
4. 新しい画面が現れコマンド待ちの状態でカーサーがウインクするのでここにつぎのコマンドをキー in します。
5. ipconfig(cr)
6. これに対してパソコンからの応答にはローカルエリア接続の諸表が返されますので、その中にある IP　Adress が必要なものです。
   私の場合 : IP Address: 192. 168. 123. 110
   と返ってきますのでこの　192.168.123.110 が自分のパソコンのローカル IP アドレスになります。ルーターを繋がない状態でこのコマンドを実行すると、返ってきた IP アドレスは WAN(インターネット上) の IP アドレスを示します。

次にパソコンのネットワーク関係の設定を行います。この設定は次の手順で行います。この設定は制御に関係するパソコン全部に必要です。

1. 「マイコンピューター」をクリックします。
2. 「マイネットワーク」をクリックします。
3. 「ネットワークの接続を表示する」をクリックします。
4. ネットワーク接続の " 画 " を右クリックします。
5. 出てきたメニューのなかから「プロパティ」をクリックします。
6. ローカルエリア接続のプロパティの「詳細設定」をクリックします。
7. インターネット接続のファイアーウォールの□にチェックを入れます。
8. この後「 設定 (G)」が現れるますのでこれをクリックします。
9. 詳細設定が画面が現れるので追加をクリックして以下の設定を行う。
   (1) サービスの説明
   誰が見ても分かるように何のための設定かを説明します。
   (2) IP アドレス
   前記の所で調査した結果のアドレスを記入します。
   (3) このサービスの外部ポート番号及び内部ポート番号
   外部ポートと内部ポートは同じ番号を記入します。これればポートーつ一つしか記入出来ませんので、順番に追加 ~OK までを下記の表のデータに従って繰返し入力し、該当するプロトコルの○所にチェックを入れます。

TS-480 で使用しているポート番号

サービス	ポート番号	TCP/UDP
ILS	389	TCP
ULS	522	TCP
T.120	1503	TCP
H.323 Call setup	1720	TCP
Audio call	1731	TCP
H.323 Call control	50000	TCP
H.323 Streaming	50000	UDP

10.ARCP-480 と ARHP-10 の設定
   Kenwood のホームページからダウンロードしたコントロールプログラムをインストールし、その setup を行います。
   Setup 等の説明はすべて該当プログラムの Help に明記されていますので、この指示に従って Setup します。
   Setup の中でも IP アドレス、パスワードなどが必要になりますので指示にしたがって入力します。

以上が完了すると問題が無ければ TS-480 を接続したパソコンでは ARHP10 をスタートさせ、他の一台では ARCP-480 を走らせます。ソフトが走って "con" をクリックしてタリーが無事点灯すれば制御 OK となります。

4. WAN 経由の遠隔制御

現時点では Kenwood の ARHP 及び ARCP の制御ソフトは通常ではルーターを介しての制御に

1ページから続く

はこの時間帯を中心に運用し出来る限り多くのQSOを目標にしました。しかしどうしてもコールサインの確認できなかった局がありましたことは残念に思っています。加えて現地の3.5MHz帯には業務用の無線局がQRVしていて、こちらも政府の免許を持っているからと言って混信問題を起こすようなことも出来ず、おのずと運用出来る周波数が限られ3515KHz、3540KHz、3557KHz、3565KHz付近のみがクリアな周波数でした。結果的には JAの状況が現地ではよくわからないので周波数を確保してくださった皆様にはご苦労をお掛けしました。

しかし、ハイバンドは JAの状態と大差なく14/21MHzは快適な運用が出来、特に21MHzではベランダアンテナの局からモービル局までFBなQSOが出来ました。

鳥インフルエンザ

心配していた鳥インフルエンザですが、訪越前に現地在住の人とEメールによる問い合わせでも「問題ないようです」との返事でしたが、実際にベトナムに来て自分の目で見た結果として、鳥を使った料理が多いベトナムの市場では鳥の影も形もなく、レストランでも「鳥を使った料理はありません」とのことでした。私は現地の言葉は判りませんが翻訳してもらったところでは現地のテレビ放送では「鳥インフルエンザは押さえ込んだからもう大丈夫です」とのコメントを出していました。

外食とレストラン

今回投宿したホテルは朝食のみがホテルで出るのですが、昼、夜は外食でした。このおかげと言ってはなんですが結構あちこちのレストランを食べ歩きました。しかし、日本人は病原菌に対しての抵抗力が弱く、熱帯地方では食中毒に最大限の注意が必要で、水道水と言えどもそのまま飲むのは要注意です。氷も同じで水道水を凍らせたものは同じと思ってください。飲むならミネラルウォーターかビールがお勧めで、安心は火を通した料理を食べている限りは大丈夫でしょう。ベトナム料理で「Hot Pot」と呼ばれ鍋料理がありますがこれは熱いけど結構美味しかった。特に冷たいビールとのマッチングは最高でベトナム製の"333ビール"(バーバーバービヤ)はなかなかのものですし安い(一本50円くらいかな)。腹いっぱい飲んでたべても合計で500~600円くらいです。また、国営のホイアンホテルの料理は最高に美味しいし、日本人だと言うと片言の日本語を話せるメードさんを付けてくれます。ダナン市にある「さくら日本語学校」の卒業生が多いようです。

さいごに

厳しい条件下で運用をした3.5MHz帯におきましては JA各局に大変お世話になりました。また、現地の条件が厳しいためどうしても空いている周波数を確保できなかったこともあり、お願いした結果、ローカル通信を中断して周波数を空けていただいた各局には御礼申し上げます。また、リニアアンプの真空管をご寄贈いただいた JA4DW 小野さん、QSLマネージャーを引き受けて頂きました JA3DYU 太宰さんにこの場を借りまして御礼申し上げます。有難うございました。

また、いつか、どこかに出かけるチャンスがありましたらFBなQSOよろしくお願いします。

4ページから続く

対応していません。ただ、H.323などのプロトコルに対応したルーターを送受双方にセットすると可能かも知れません。このあたりは非常に大きな問題で、ルーターなしでの回線接続は侵入などに対して危険極まりないものと判断しています。

Kenwoodには早急にこれらソフトをルーター経由で制御可能なようにアップデートされることを希望します。

その他　これまでに気付いた問題点

1. 本体とパソコンのケーブルについて
   TS-480にはコネクターが付属していてケーブルなどは自前で用意してやることになっています。この付属のコネクターに多芯ケーブルを半田付けするのは結構難しいので(私は不器用なので)特にやりにくかったのですが、このコネクターはパソコンのPS/2キーボードの延長ケーブルの片方のコネクターがぴったり合いますので、私は中古のキーボード延長ケーブルのTS-480側と反対の方にミニプラグを取り付けて使用しています。不器用な方はお試しを。
2. ARCP-480のソフトについて
   このソフトはフォアグランドでしか動作しません。遠隔操作で使用するときにはこれ以外のソフトは使用出来ません。これがなぜ問題かと言うと、アマチュア局でパソコンを使用している局はログがパソコンに入っていて、ARCP-480を動かすとログソフトは使えなくなります。どうしてもとなるとパソコンが2台必要になります。
3. 私の提案
   TS-480のコントロールパネルはそれ自体データを発生して本体とデータ通信によって制御と表示を行っています。このコントロールパネルそのものを制御端末として使用し、つまり4mの接続ケーブルの部分をインターネットに置き換えると考え、これを動かすソフト及び音声伝送用のソフトをバックグランドで動作する仕様にすれば、フォアグランドでログソフトも使え一台のパソコンですべて解決できます。更にはTS-480から周波数、電波形式、をログソフトに渡せるように出来ればFBです。(移動先ではKNSを使用するので可能と思われるが、自局内でパソコンからARCP480で制御しているときはCOMポートを使用するので、この対応が必要と思われる。)
4. メーカーの姿勢
   問題が発生した時点でメーカーと対話しましたが、TS-480については懇切丁寧でしたが、ソフトとなるととたんに歯切れがわるくなりユーザーとしては大変不満足でした。
   不明快だった点は
   1) IPポート数と番号が取扱説明書に明記されていない。パソコンとのハードウエアの接続の説明はあってもソフトのインストールにかかる説明が取扱説明書に明記されていない。
   2) トータル設計が実際のアマチュア無線局の運用状態そのものを想定していない。パソコンを繋いで単に動くだけのものでは設計者の自己満足だけの世界になってしまう。ユーザーはメーカーの守備範囲など関係なく無線局の運用状況を問題にしています。メーカーも自社内にクラブ局がありますので実際に運用してみれば問題点は簡単にでてくると思います。(単なる電話ごっこの運用ではなく過酷なコンテスト、DXペディションのパイルアップへの参加などでどこまで追従できるかの問題)ユーザーが何を望んでいるかを知るのが最大の問題でしょう。
   3) 設定においてあちらを見て、また、こちらを見てそれでも分からなければHelpを見て・・・・こんなややこしいことは実際的ではありません。少なくとも取扱説明書、あるいは設定指示書など1冊にまとめるべきでしょう。
   4) 遠隔操作にかかる申請手続きについても取扱説明書には一切記述されていません。わずかにホームページで申請例があるだけで、これについてもあちらを見て、こちらを見て結構ややこしい。遠隔操作は現時点では継子扱いになっているという感じですね。
   5) はっきり言って遠隔操作でのCWは使い物にならない。これもベテランの運用状況とはかけ離れたもので、キーヤーは移動現場に必要なもので使えないのは致命傷になります。
   6) WAN経由の遠隔操作の質問に対してのメーカーからの返事としてルーターなしでの使用、あるいはDMZ機能などオールパスの設定を言っています。これは、運用上回線に繋ぎっぱなしの使用状態になるので侵入等に対しては無防備となり危険極まりない運用方法と判断しています。早急な善処方が待たれます。

生まれて間もないTS-480ですが、この機種については遠隔制御が出来ることのみが大特徴と言える機種なので(200Wの移動局は電波法上アングラの世界と思っています)この部分の説明に手を抜くと、せっかくの特徴を持って生まれた意味がなくなります。メーカーさんとしては逃げずにやっていただきたく、今後の対応の充実に期待しています。

大阪国際交流センターラジオクラブ
JI3ZAG

Web: http://ja3.net/ihouse

Newsletter
http://www.ja3.net/ji3zag_nl
会報を自由にダウンロードすることができます

ロールコール
毎週土曜日 9:00JST@14.160MHz

大阪国際交流センター
毎月第2金曜日